※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | T3016 |
|---|---|

# 令和５年度　情報科

| 教科 | 情報 | 科目 | 情報Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「情報Ⅰ　Next」　（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 教員作成プリント等 | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・座学と実習を通して、効果的なコミュニケーションの実現を目指すと共にコンピュータやデータの活用について理解を深め、情報社会と人との関わりについて学んでいきます。
・座学では、情報モラルやマナー、法律やコンピュータの仕組み、ネットワークの仕組みを中心とした、プリント学習や体験型の学習を行います。
・実習ではコンピュータ操作(日常生活で役立つ内容からプログラミング)を基礎から教えます。苦手な人でも安心して取り組めるので、最後まであきらめずに取り組みましょう。

## ２　学習の到達目標

①情報や情報技術などの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させる。
②様々な事象と情報との結び付きを捉え、問題の発見・解決に向け、情報や情報技術を効果的に活用している。また、結果などが必要になるについては、適切に表現している。
③情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、ネットワークを利用して効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報化社会に積極的に参加する。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。 | 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。 | 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見。解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 情報社会と問題解決 | ・情報とメディア<br>・情報社会における法とセキュリティ<br>・情報技術が社会に及ぼす影響 | a:「情報」が持つ意味、はたらき、技術や、法律、権利について理解している。<br>b:情報の適切な表現形式や、セキュリティを脅かす問題に対する対策方法について考え、判断している。<br>c:情報の持つ意味、適切な表現形式、情報を発信する際に注意すべき点などに関心をもっている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート |
| | コミュニケーションと情報デザイン | ・情報のデジタル表現<br>・コミュニケーション手段の発展と特徴<br>・情報デザイン<br>・プレゼンテーション | a:進法の変換や文字コード、画像の解像度や、コミュニケーション手段、表現について理解している。<br>b:音や画像をデジタル化する方法や文字をコードで表現する方法について考え、適切に表現している。コミュニケーションの目的などを状況に応じて適切に表現している。効果的なプレゼンテーションとなるように考えている。<br>c:数値や文字、音、画像がデジタル情報としてどのように表されるか関心をもっている。コミュニケーション手段の発達や情報伝達のメディアに関心をもち、適切に情報発信しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br>パフォーマンス課題 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | コンピュータとプログラミング | ・コンピュータのしくみ<br>・プログラミング<br>・モデル化とシミュレーション | a:コンピュータの基本的な構成について理解し、基本的な操作ができる技能を身に付けている。コンピュータによる処理手順やプログラミング言語と人の話す言語のちがいについて理解している。<br>b:コンピュータの中のＣＰＵやメモリ、補助記憶装置についての役割やソフトウェアのはたらきについて理解している。アルゴリズムを適切なプログラム言語と記述で表現している。<br>c:コンピュータの本体や周辺装置、ＯＳやアプリケーションについて関心をもっている。<br>プログラムミングに関心を持っている。 | ワークシート<br><br>定期考査 | ワークシート<br><br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br><br>パフォーマンス課題 |
| | 情報通信ネットワークとデータの活用 | ・ネットワークのしくみ<br>・データベース<br>・データの分析 | a:ＬＡＮやＷＡＮなど、コンピュータによる通信を身に付けている。ウェブページの特徴やその閲覧のしくみ、ＵＲＬの構成や意味、電子メールアドレスの構成や送受信のしくみについて理解している。<br>b:コンピュータによる通信とその影響について考えている。通信の秘密を守るための技術について必要か考え、判断している。<br>c:コンピュータによる通信に関心をもち、積極的に活用しようとしている。情報セキュリティについての技術に関心をもち、主体的に対応しようとしている。 | ワークシート<br><br>定期考査 | ワークシート<br><br>定期考査 | ワークシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度